

2009年5月8日

# 2009年度京王グループ経営計画

京王電鉄株式会社

～『信頼のトップブランド』を目指して～

「安全の確保」と「沿線価値の向上」への

たゆまぬ努力を続けてまいります。

昨今の厳しい経営環境においても、京王グループでは、「安全の確保」を最重要課題と位置付け、たゆまぬ努力を続けます。

鉄道の安全投資などの増加に伴い、償却負担も増加しますが、今後も、経営の安定性を確保するため、グループ一丸となって利益の確保に努めます。

また、沿線の魅力を高めるべく「沿線価値の向上」に取り組むことで京王グループのさらなる成長を目指していきます。

これらにより、2009年度の連結設備投資額は903億円を計画しています。そのうち鉄道事業には、493億円（安全性向上に396億円）を投資していきます。

## 【2009年度重点施策】

### 1. 鉄道事業のさらなる安全性の向上

#### (1) さらなる安全性の向上

- ① 「責任事故ゼロ」を安全目標とし、その実現に向け、ヒヤリハット情報や内部監査を活用してP D C Aサイクルを機能させ、事故の未然防止策を講じるなど、引続き運輸安全マネジメントを推進します。また、より実践的な教育・訓練を行い技術の継承を図るなど、安全確保の基礎である人材を育成します。
- ② 信号システムのA T C化について、相模原線で切替えを完了するほか、京王線では地上装置の設置を完了し、夜間走行試験を開始します。また、井の頭線では通信ケーブル敷設および地上装置の設置を推進します。
- ③ 京王線9000系車両60両、井の頭線1000系車両45両を導入します。
- ④ 構造物の耐震性向上のため、高架橋柱やずい道の補強工事を引続き行います。また、吉祥寺駅で井の頭通りを跨ぐ高架橋の改築などを進めます。

## (2) より安心・快適な輸送サービスの提供

- ① 駅の段差解消の2010年度達成に向けて、駅舎改良工事を推進します。平山城址公園駅でエレベーターを設置するほか、永福町駅で橋上駅舎化を完了します。引き続き、芦花公園、百草園駅の工事を進めるほか、新たに、千歳烏山、東府中駅などで工事に着手します。
- ② 施設の配置を知らせる音声・音響案内設備を全駅に設置完了するほか、フルカラー液晶画面の車内案内表示器を115両に整備します。

- エレベーター等の設置による段差解消について、原則として2010年度の全69駅完了を目指しており、2009年度末には整備率83%となる予定です。
- 車両のバリアフリー化について、2010年度の全車両完了を目指しており、2009年度末には在籍車両に対する整備率は95%となる予定です。

## (3) 大規模工事の推進

- ① 調布駅付近連続立体交差事業について、2012年度の完成を目指し、駅部での掘削工事を進めるほか、トンネル掘削機（シールドマシン）によるトンネル掘進を進めます。
- ② 笹塚以西の鉄道立体化については、代田橋駅～八幡山駅付近連続立体交差事業の事業認可・着手に向け、事業主体である東京都と都市計画手続きや環境影響評価などを進めていきます。また、八幡山以西の鉄道立体化についても、早期事業採択に向け関係機関へ積極的に働きかけます。

## 2. 沿線価値の向上

### (1) 沿線拠点開発の具体化

- ① 吉祥寺地区では、京王吉祥寺駅ビル建替え計画をまとめ、2010年度着工を目指します。
- ② 聖蹟桜ヶ丘地区では、ショッピングセンターを核とした駅周辺の有効活用策を実施します。
- ③ 新宿地区や調布地区などにおいて、将来構想や開発計画の方向性、前提条件を固めます。

### (2) 新規物件の開発

- ① 商業施設では、フレンテ南大沢や京王リトナード北野、府中駅東側コンコース店舗が竣工するほか、永福町駅ビルの建設工事を進めます。
- ② 賃貸住宅では、アコルト新宿落合やHi-Rooms神泉、橋本2丁目住宅（リプラ）が竣工します。

### (3) カード戦略の進展

- ① 京王グループ共通ポイント券引換期間延長により、利便性の向上を図ります。
- ② P A S M O 電子マネーサービスの拡大策として、グループ外企業への展開を推進します。
- ③ グループ全体を網羅した顧客戦略の策定に着手します。

### (4) 生活サポートサービスの展開

- ① 京王ほっとネットワーク桜上水店（2号店）への拠点開設（2009年3月18日開設）にあわせて、生活サポートサービスを京王線・井の頭線全域で展開します。
- ② 安全・安心の街づくりへの取組みとして「シニアセキュリティ」を高幡不動地区で開始します。

### (5) 新規事業への取組み

- ① シニアレジデンス事業の1号店出店に向け、用地の確保など準備を進めます。

## 3. 利益の確保

### (1) 京王電鉄

- ① 鉄道事業部門において、業務効率化に資する設備の導入を推進します。
- ② 開発事業部門において、安定した収益が期待できる稼働物件を取得するほか、グループ店舗の出店などにつながる事業用地の取得・賃借・サブリースや、駅前等の将来の開発用地について取得を進め、賃貸資産の拡充を図ります。
- ③ 全社において、投資や経費の見直しを行います。

### (2) グループ各社

- ① 将来の成長に向けたグループ事業競争力の維持・拡大を進めます。
  - ・ 京王百貨店では、ビジネスモデル確立による商機拡大や組織顧客の拡大などを目的とした小型サテライト店舗をららぽーと新三郷に出店します。
  - ・ 京王プラザホテルでは、改装により、分割仕様や音響・照明設備等の機能が向上した大宴会場「コンコードボールルーム」を最大限に活用したセールスなどを展開します。
  - ・ 京王電鉄バスグループでは、引続き顧客ニーズを捉えた路線の開拓などを実施します。
  - ・ 京王プレッソインでは、夏に九段下店を開業させるとともに、チェーン拡大に向け新店舗の開拓に取り組みます。
- ② 生活関連事業の強化を図るため、駅リテール事業の再構築や食品スーパー業の拡充を目指します。

【連結利益計画】

(単位：億円)

	2008年度実績	2009年度計画
連結営業収益	4,201	4,176
連結当期純利益	154	110
連結EBITDA	670	635

【連結設備投資計画】

(単位：億円)

	2008年度実績	2009年度計画
運輸業	611	541
流通業	49	64
不動産業	152	257
レジャー・サービス業	54	39
その他	1	7
(連結修正)	-9	-7
合計	859	903

(鉄道事業投資計画)

(単位：億円)

	2008年度実績	2009年度計画
安全性向上	470	396
サービス向上	79	78
環境対策・その他	17	18
合計	566	493